

平成29年度 第1回 文化によるまちづくり推進委員会

日 時 平成30年2月8日(木) 18:30~
場 所 市役所3階 第2委員会室

次 第

1 辞令交付

2 委員長あいさつ

3 議事

(1)文化振興事業について

(2)第7回現代ガラス展について

4 その他

次回予定 月 日

文化によるまちづくり推進委員会 委員名簿

所 属	氏 名	備 考
山陽小野田市文化協会	齋 藤 大二郎	副委員長
山陽小野田市文化協会	比 嘉 朝 康	
山陽小野田市文化協会	廣 田 由 実	
山陽小野田市文化協会	岡 本 紘 子	
山陽小野田市小学校長会 (須恵小学校)	縄 手 秀 樹	
山陽小野田市中学校長会 (埴生中学校)	吉 水 多加志	(新)
山陽小野田市連合女性会	林 絹 江	
山陽小野田観光協会	千々松 武 博	
小野田商工会議所青年部	長 岡 武 寛	
山陽商工会議所青年部	中 戸 千 恵	
学識経験者 (元 宇部フロンティア大学短期大学部)	富 田 輝 美	
学識経験者 (元 きららガラス未来館 館長)	湯 城 明 彦	
公募委員	塩 田 賢 二	
山陽小野田市芸術顧問	田 村 洋	
山陽小野田市文化・スポーツ振興部長	姫 井 昌	委員長

任期 平成29年2月17日～平成31年2月16日

山陽小野田市文化によるまちづくり推進委員会設置要綱

平成26年7月14日制定

平成28年10月20日改正

(設置)

第1条 本市における文化芸術の振興及び文化によるまちづくりの推進に関し、広く市民から意見を聴くため、山陽小野田市文化によるまちづくり推進委員会（以下「推進委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進委員会は、次に掲げる事項について調査し、審議し、意見を述べる。

- (1) 文化芸術の振興に関すること。
- (2) 文化によるまちづくりの推進に関すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認めること。

(委員)

第3条 推進委員会の委員は、17人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 芸術及び文化団体関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 各種団体関係者
- (4) 学識経験を有する者
- (5) 市民（公募により選出された者）
- (6) 山陽小野田市芸術顧問

2 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第4条 推進委員会に、委員長及び副委員長を各1人置く。

2 委員長は、文化・スポーツ振興部長をもって充てる。

3 副委員長は、委員のうちから、推進委員会の同意を得て、委員長が指名す

る。

(役員職務)

第5条 委員長は、推進委員会を代表し、会務を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が必要に応じて招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 委員長は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 推進委員会の庶務は、文化・スポーツ政策室において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営について必要な事項は、委員長が推進委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成26年7月14日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年10月20日から施行する。

平成29年度 主催文化事業実績

事業名	開催日等	会場	対象	内容と実績
山口県交響楽団演奏会 山響サマーコンサート	6月25日(日)	大ホール	幼児 ～大人	コンサートを行い市民に生のオーケストラの演奏に接してもらう。 実績:383名
上方演芸会 (NHKラジオ公開番組)	6月30日(金)	大ホール	どなたでも	NHKのラジオ第1(全国放送)で行われる上方芸人による漫才と漫談の番組の公開収録。上方ならではの話芸の数々を楽しんでいただく。 実績:564名
子ども文化ふれあい事業 「いっこく堂ボイスイリュージョン」	7月7日(金) 14:00-	大ホール	小学 6年生	子どもたちは本物の芸術文化に触れる機会が少ないため、将来を担う子どもたちに文化会館での生の鑑賞機会を市内小学生を対象に提供する。 実績:第1回公演 551名
文化ふれあい事業 「いっこく堂ボイスイリュージョン withマギー司郎」	7月7日(金) 19:00-	大ホール	一般	本物の芸術文化に触れる機会が少なく、これまで、芸術文化鑑賞の機会があまりなかったため、文化会館での生の鑑賞機会を市民に提供する。 実績:第2回公演 576名
第23回 山陽小野田市ピアノマラソン 大会	8月25日(金)～ 8月27日(日)	大ホール	どなたでも	ひとり1曲ずつスタインウェイピアノを演奏し、全出場者の演奏時間のトータルを記録する大会。開館2年目から継続している。 実績:参加者 470組497名 記録 19時間43分51秒
第11回 やまぐち少年少女合唱祭 in山陽小野田	12月23日 (土・祝)	大ホール	小学生 ～大人	国民文化祭2006から続く児童合唱の祭典。県内の少年少女合唱団が出演。 実績:出演団体 7団体 入場者 470名
アウトリーチ事業	10月5日(木)～ 10月6日(金)	4ヶ所	小学生 ～大人	市民により身近に文化芸術にふれてもらうため、出前コンサートなど地域交流を図る事業(小学校・中学校・児童養護施設など)を計4回実施する。 実績:厚狭中、小野田中、津布田小、小野田小
フランス バロック音楽コンサート2017	10月24日(火) ～ 10月25日(水)	小ホール 中央図書館	どなたでも	フランスのギター三重奏団「トリオ、ニテティス」によるフランスバロック音楽の紹介と演奏。鑑賞機会の少ないフランスバロック音楽に馴染んでいただく。 実績: 126名
映画「二人の桃源郷」	11月5日(日) 10:00～ 14:00～	小ホール 中央図書館	どなたでも	山口放送が開局60周年を記念して長年に渡って取材したドキュメンタリー。二人の老夫婦の山での自給自足の生活を通して人それぞれの「大切なもの」を見つめなおすきっかけを提示。 実績: 237名
展覧会事業(写真展)	平成30年 2月13日(火)～ 2月18日(日)	小ホール	一般	舞台芸術だけでなく美術作品等の鑑賞機会を求める声に応えるために、広範囲の分野で作品の展示を行い、親しんでいただく。
第8回 アートのたまてばこ	平成30年 3月8日(木)～ 3月11日(日)	小ホール	どなたでも	市内外のアーティストによるコラボレーション展覧会。

平成29年度 文化振興関係事業

【市・文化協会 両主催事業】

○市民文化祭

9/3(日)	川柳大会(市民館)
10/8(日)	市民音楽祭(不二輸送機ホール)
10/8(日)	日本舞踊祭(市民館)
10/15(日)	邦楽大会(不二輸送機ホール)
11/4(土)	市民茶会(市民館)
11/4(土)~5日(日)	華道展(市民館)
11/5(日)	洋舞演劇祭(市民館)
11/10(金)~12日(日)	展覧会(市民館)
11/12(日)	俳句大会
11/12(日)	短歌大会

【文化協会主催 市共催事業】

○春の文化祭

5/20(土)~21日(日)	春の文化祭 美術工芸部門文化展(不二輸送機ホール)
5/21(日)	春の文化祭 第10回コーラスフェスティバル(不二輸送機ホール)

○文化事業

8/26(土)	向峠神楽保存会 山陽小野田公演(市民館)
平成30年 3/18(日)	中野振一郎 with アンサンブル・ミラージュ(市民館)

【各団体主催 市共催事業】(不二輸送機ホール)

5/27, 8/6, 10/1, 12/10, 3/21	ファミリーコンサート / ティータイムコンサート
1/20(土)、21日(日)、28日(日)	tys山口県学生ピアノコンクール
9/16(土)	優秀映画祭
平成30年 3/10(土)	アラ還フェスティバル

○山口県総合芸術文化祭

12/17(日)、26(火)、27(水)	第41回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会 (不二輸送機ホール)
----------------------	---------------------------------------



SANYO ONODA
CONTEMPORARY
GLASS ART
EXHIBITION

第7回 現代 ガラス 展

in 山陽小野田

●応募締切

日時 平成30年4月6日(金)

●審査会

日時 平成30年4月26日(木)

●展覧会

日時 平成30年7月7日(土)~8月26日(日)

場所 おのだサンパーク

内容 受賞8作品/入選50~60作品/特別出品

●入選作品のうち受賞作品8点は、「第7回現代ガラス展 in 山陽小野田受賞作品展」にて次のとおり展示します。

日時 平成30年9月11日(火)~9月24日(月)

場所 山口県立萩美術館・浦上記念館

●主催

現代ガラス展実行委員会・山陽小野田市

■現代ガラス展■

2000 平成12年 「日本の現代ガラス展」

旧小野田市の市制施行60周年記念事業として、日本を代表するガラス造形作家60人の作品展を開催。

2001 平成13年

「第1回現代ガラス展inおのだ」

45歳以下の若手ガラス作家を対象とした、トリエンナーレ方式(3年に1回開催)によるコンペティションを開催。入選作品69点を展示。



準大賞「Aqua#3」池本美和



大賞「月齢」西川慎

2004 平成16年

「第2回現代ガラス展inおのだ」

数少ない日本のガラスコンペティションへのまたとない貴重な出品機会となるため、レベルの高い作品が数多く出品され、若手作家の登竜門となりつつある。入選作品67点を展示。



準大賞「なみに」静観朋恵



大賞「古の気配IV」吉田憲

2002 平成14年度

「竹内傳治遺作展」

竹内傳治氏の遺作60点を展示。



「山科」



「コンポジション#199」



「陽炎」

2006 平成18年

「第3回現代ガラス展in山陽小野田」

「国民文化祭「創造・現代ガラス展」」

国民文化祭に合わせ、現代ガラス展を開催。入選作品70点を展示。竹内傳治氏の作品2点と、氏にゆかりのある10人の作家の作品10点を展示した「竹内傳治とゆかりの作家10人展」も開催。



大賞「フォルム 2006」阿比留生吾

2009 平成21年

「第4回現代ガラス展in山陽小野田」

入選作品58点を展示。会場の広さ、照明の演出などにこだわり、ミュージアムショップ、ミュージアムカフェ、様々な協賛イベントの協力を得て美術館レベルの展覧会を目指した。



大賞「Cocoon」川邊雅規

2012 平成24年

「第5回現代ガラス展in山陽小野田」

受賞作品8点、入選作品59点、特別出品3点を展示。ミュージアムショップ、ガラス作品づくりを体験できるワークショップ、ガラスで作られたマリンバ等を演奏するミュージアムコンサート等により「ガラス」を体験できる展覧会の提供に努めた。



大賞「何かが見ている予感」渡辺知恵美

2015 平成27年

「第6回現代ガラス展in山陽小野田」

受賞作品8点、入選作品54点、特別出品3点を展示。小物を販売するミュージアムショップのほか、ワークショップやミュージアムコンサート、会場内シアターにてガラスに関するDVD上映を行った。また、展示作品への理解をより深めるために、音声ガイドを導入した。



大賞「溜まる場所」保木詩衣吏

■山陽小野田市とガラス■

山口県山陽小野田市は、昔から窯業のまちとして発展してきました。6世紀後半には「須恵器」の生産地として賑わい、明治22年に硫酸会社が設立されると、化学薬品の容器として「硫酸瓶」など製陶業が盛んになりました。「巨の登り窯」は往時を偲ばせる窯です。

明治14年には国内初の民営セメント会社が設立され、「徳利窯」の通称で親しまれている「旧小野田セメント製造株式会社野窯」は国の重要文化財に指定されています。

窯業を伝承しつつ新しい市の文化を創造し、発信しようとしたとき、現代ガラス作家である竹内傳治氏と窯業のひとつであるガラスに注目しました。氏の若手ガラス作家を育成したいという思いもあり、出品者に45歳という年齢制限を設け、3年ごとに現代ガラス展を開催しています。現在、この公募展の位置づけは高く、若手作家の登竜門的コンペティションとして、確固たる地位を築いております。

■竹内 傳治 (たけうち でんじ)■



- 1934年 旧小野田市生まれ
- 1979年 コーニンググラス美術館 New Glass展 入選 作品収蔵
- 1980年 国立近代美術館(京都、東京) 現代ガラスの美展 招待出品
- 1985年 北海道立近代美術館 第2回世界現代ガラス展 出品
- 1995年 国立ヴィクトリア&アルバート美術館 現代日本工芸展 招待出品
- 1999年 サントリー美術館 日本のガラス2000年展
- 2000年 「日本の現代ガラス展」を導く
- 2001年 「第1回現代ガラス展inおのだ」審査委員長
- 2001年 7月16日没 享年67歳

■ガラス作品巡りをしよう■

山陽小野田市内各地に、竹内傳治氏のガラス作品を始め、これまでの現代ガラス展入賞作品などが展示されています。

美しく趣くガラス作品巡りをしませんか？



「流氷」竹内傳治



「ウォーヴングラス藝」橋本和代

きららガラス未来館

平成16年度開業。吹きガラス体験、サンドキャスト体験、サンドブラスト体験、エナメル絵付け体験などが気軽にできる公設のガラス工房。本格的に吹きガラスを学べる講座も開講。



問合せ先

現代ガラス展実行委員会事務局

〒757-0002 山口県山陽小野田市大字郡1754番地
山陽小野田市文化会館内
TEL:0836-71-1000 FAX:0836-71-1002
URL:<http://www.city.sanyo-onoda.lg.jp/site/glass-art/>
E-mail: glass-art@city.sanyo-onoda.lg.jp



「十二支」横山尚人



「ベネチアンボトル」竹内傳治



「FOUR PAINTINGS」佐野猛



「コンポジション#92」竹内傳治

